



ブルーリボン をつけよう



ブルーリボンの意味を知っていますか？

ブルーリボンの青い色
北朝鮮に囚われている拉致被害者と
日本で再会を待つ被害者家族の
間を隔てる日本海の青
北朝鮮に囚われている拉致被害者と
日本で再会を待つ被害者家族を
唯一結ぶ 青い空
を意味しています。

想像してみてください！

「国民の8割がブルーリボンを着けたなら、拉致問題は変わる」

救う会埼玉から拉致問題解決を願う皆様へのお願い

拉致問題解決の為に街頭に出て訴えたり、デモに参加したりしないといけないのではないかと、思っておられるならそれは誤解です。国民世論が拉致問題を進展させ、解決の為に大きな力になります。ブルーリボンを着ける、これだけでも国民の声、世論の声になるのです。黙っていても誰にも伝わりません。



心の中で何万回、何億回「めぐみちゃんや他の拉致された人達が帰ってきますように」と願っても、声となって誰かに伝わらなければ意味がありません。ブルーリボンを着ける、たったそれだけで、あなたの「拉致問題解決を願っている」という願いは声となって他の人に伝わります。恥ずかしがらずに着けて下さい。

「私一人がブルーリボンを着けてもね…」リボンを毎日着けて幼稚園の送迎、買い物、お友達とのランチへ行ってみてください。「何時も着けているそれはなあに?」と必ず聞かれる時が来ます。「拉致問題解決を願うブルーリボンよ」と答える。それだけでも拉致問題の風化を防ぎます。立派な広報活動です。

ブルーリボンは青いリボン・毛糸・ビーズなどで作ることができます。形や大きさに制限はありません。素敵なりボンを作ってください。又、ブルーリボンバッジを着けたいなら、救う会全国協議会、特定失踪者問題調査会、日本ブルーリボンの会のHPから購入できます。救う会埼玉でも扱っております。お好きなものをつけてください。



ブルーリボンが拉致問題の象徴であることは北朝鮮も知っています。ブルーリボンを日本人の8割が付けたなら、それだけで北朝鮮への大きな圧力になります。

「日本人は拉致被害者を忘れていない。今すぐ、拉致被害者を家族のもとへ返してあげて。」その声を日本政府・北朝鮮に届ける為、ブルーリボンを着けてください。どうか、よろしく願い申し上げます。



北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会 (救う会埼玉)